

ノミ、マダニのお薬（猫）

ノミ、マダニによる
被害

- * ノミアレルギーなどの皮膚炎や、刺し跡の発赤、かゆみなどの皮膚症状
- * 大量寄生や子猫に寄生した場合、貧血がおきることがある
- * おなかの中や血液中に寄生する寄生虫を媒介する
- * 人間も刺されたり、病気を媒介される危険性がある（近年問題になっている、重症熱性血小板減少症候群を起こす SFTS ウイルスなど）

当院で処方しているノミ、マダニ駆除剤

商品名	使用方法	ノミ		マダニ	使用開始時期 および 持続期間、 その他の効果
		成虫 駆除	卵ふ化 阻害	成虫 駆除	
フロントライン プラス	スポット	○	○	○	8 週齢～ ノミ 1.5 ヶ月、マダニ 1 ヶ月
※レボリューション	スポット	○	○	×	6 週齢～ ノミ: 1 ヶ月 回虫(腸内寄生虫)、ミミヒゼンダニにも有効
※ブロードライン	スポット	○	○	○	7 週齢～ ノミ・マダニ: 1 ヶ月 犬フィラリア症予防、回虫、鉤虫、条虫、多包条虫
コンフォティス錠	経口	○	×	×	14 週齢～ ノミ 1 ヶ月

スポットタイプのお薬は肩甲骨間（頸背部）の被毛を分け、皮膚に直接滴下します。
（使用前後3～4日間は、シャンプーを控えることが望ましいです。）

※ ノミ以外にも効果のあるお薬です。

予防期間

ノミ、マダニが活発に活動するのは4月から11月頃までです。その間は予防、駆除をしましょう。また、複数のペットを飼われているお宅や、外出する猫のいるお宅では冬場も室内にノミが持ち込まれ、ノミの産卵、ふ化、寄生というサイクルが成立することもあるので、冬場も投与を継続し、通年で予防することをおすすめします。

★ペットショップ等でもいろいろなお薬が市販されていますが、動物病院で処方されるお薬のほうが効果は明らかに良いというデータがあります。